

第7回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（会議要録）

- ◆協議会の名称 平成27年度 第7回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会
- ◆開催日時 平成28年1月15日（金）19時00分～21時20分
- ◆開催場所 嘉麻市役所碓井庁舎 会議室1
- ◆公開又は非公開の別 公開
- ◆非公開の理由 （会議を非公開とした場合のみ）

◆出席者

（委員）

井原 徹会長 坂田 勲副会長 村上曙生委員 大山征男委員

田中 穆委員 芹野彌生委員 野見山利三委員

有吉直子委員 藤井幹裕委員 廣瀬公彦委員

※欠席委員2人 松岡光昭委員 野上真吾委員

（事務局）

総務財政及び市民環境担当総合調整監 秋吉俊輔

庁舎・交通体系対策室 小林純一、橋垣康秀、柴田英樹、塚本明弘、犬丸亮子

◆傍聴人数 3人

◆議題及び協議の内容

1 会長あいさつ

- ・新年1回目で遅らばせながら、あけましておめでとうございます。昨年はいろいろ最後の時には2時間半にわたる多くの議論を頂きまして、また、ありがとうございます。また今回は、宿題というかたちでたくさんのご意見を披露頂き、ありがとうございます。できるだけいい答申をしていきたいと思っておりますので、また今年も積極的なご意見を賜りますことをよろしくお願ひします。じゃあ、今日始めていききたいと思ひます。

2 議事

（1）会議（要）録の承認等について

- ① 第4回会議録
- ② 第5回会議録
- ③ 第6回会議録及び会議要録

- ・会議録及び会議要録の内容については、修正意見等はなく、承認されました。

(2) 諮問事項に関する協議

①新庁舎建設基本計画（案）に関することについて

②支所庁舎のあり方及び支所に必要な機能に関することについて

資料 36 資料 35 新庁舎建設基本計画（案）に関する審議資料（平成 27 年 12 月 18 日）に関する意見とりまとめ資料

《主な質疑及び意見等》

- ・（委員）新庁舎建設地が北側に偏っているため、市民平等の精神に欠けている。
- ・（委員）今まで、水がはけ切れずに冠水した際の対策は、とられているが、想定外の川の氾濫の際、災害対策本部を本庁舎にだけ集約して大丈夫なのか。

⇒（事務局）洪水ハザードマップ等の対策である外水対策としては、堤防等の管理をしている遠賀川河川事務所において、堤防点検の結果、庁舎建設地周辺の堤防の安全は確認されており、今後も適切な維持管理、点検及び必要な対策の実施等を行っていききたいとのことであり、市としては、嘉麻市全体の治水安全度の更なる向上や堤防等の適切な維持管理の継続等、引き続き遠賀川河川事務所に要望していききたい。また、大雨による川の水かさの増加に伴い、水路の水がはけ切れずに冠水する内水対策としては、固定堰の可動堰への改修を行ったことや早めに堰を落としてもらうよう要望を行っている。さらには、建物上の工夫により、専門家等のご意見をいただきながら、更なる安心・安全な施設の整備を一つの方向性としている。すべて災害は、どこで起こるのか断定できないので、少しでもリスクを減らせるように、建物上の工夫を含めて最大限行っていききたい。

- ・（委員）災害が起こっても、十分対応できる安全な計画を立ててほしい。
- ・（委員）市がもっている個人情報の管理について、災害時に備え、庁舎外のバックアップなどの情報管理の計画を立ててほしい。
- ・（委員）新庁舎建設地周辺道路において、災害の際の緊急輸送道路として、国道以外のバックアップ道路を整備した方がよいのではないかと。

⇒（事務局）新庁舎建設地周辺の現状の道路状況としては、若干の余裕がある状況であるが、今後の地理的な状況の変化の中で市の総合的な計画の中で、整理して検討していききたい。

- ・（委員）新庁舎の周辺及び防災の観点から、変更される地域防災計画を活かしてほしい。
- ・（委員）職員が働きやすく、市民が利用しやすい庁舎でなければならないが、アンケート結果等を踏まえ、庁舎建設の際の市民ニーズをどういうふうにとらえているのか。

⇒（事務局）アンケート結果等を踏まえ、市・区・町・役所の窓口事務施設の調査及び最大滞留量の近似値掲載方法によって来庁者の必要駐車台数を計算している。

- ・(委員) 本庁舎の駐車台数は、当分の間残る碓井庁舎や各支所の駐車場があると思うが、それらを踏まえて計算されているのか。
- ⇒(事務局) 各庁舎毎の月別の利用者数において、稲築庁舎に行く利用者数を勘案し、駐車台数を計算している。
- ・(委員) 市民の利用としては、住民票や戸籍関係が多く、また、郵便局の利活用を検討しているので、本庁舎の駐車スペースとして、そんなに広くなくてもよいのではないか。
 - ・(委員) 支所などに機能を分散するので、その分のスペースは本庁舎に必要ななくなるのではないか。
 - ・(委員) 今後、計画する際に、支所等への機能を分散することを見込んで想定すべきではないか。
- ⇒(事務局) アンケート調査による利用目的の約7割を支所で完結することが、あるべき姿と思われる。また、利用目的の約7割を占める業務は、支所にもあるが、本庁舎にはすべて業務があり、通勤の都合等により、利用される庁舎もあるため、本庁舎と支所体制になっても、現状の各庁舎の利用割合とあまり変化はないのではないかとと思われる。
- ・(委員) 駐車台数は、現在最大限で書かれており、何かあった場合には、最大限の駐車台数の確保が必要である。ただし、普段は空いているので、その対応を考えてほしい。
 - ・(委員) 駐車台数等については、支所の話の中で、本庁舎と支所の業務分担を踏まえて相対的に考えてほしい。
 - ・(委員) まつりや避難訓練、消防の出初式ができるある程度大きな多目的広場が嘉麻市にも必要であり、また、災害時数多くの仮設テントを張るためにも必要である。
 - ・(委員) 利用者が限定的にならないよう多目的という名前の広場となっており、地域に開放するということが大きな施設のあり方である。
 - ・(委員) 地域毎にすでにある場所については、有効活用すべきである。
 - ・(委員) 多目的広場と地域の広場との使い分けの計画を今後立てるべきである。
- ⇒(事務局) 現状の多目的広場は、ラグビー等スポーツ施設として利用されており、新庁舎における多目的広場は、多目的に使えるスペースであり、駐車場との併用も含め、今後設計等において、使い方を含め検討していく。
- ・(委員) 現在、実施しているまつりを行うスペースとしては、新庁舎における多目的広場では狭く、稲築庁舎跡地ぐらいの広さがないと、人間が収容できず、まつりは行えない。
 - ・(委員) 稲築庁舎は解体するので、跡地をまつり等に利用すべきである。
 - ・(委員) 新庁舎における多目的広場は、有効活用を検討してほしい。

- ・(委員) 付加機能の議会図書館や市民ホールとは、どういうものか。
- ⇒(事務局) 現状の嘉麻市議会の議会図書館とは、議員控室に議会関係の本のキャビネットが設置されたものである。また、市民ホールとは、一般の方の待合室である。
- ・(委員) 福岡県庁の議会には、女性議員の更衣室があるが、新庁舎にはないのか。
- ・(委員) 今後の設計において、議員、職員、市民を含めた男女共同参画、更には子ども、高齢者に対応した計画を望みたいということでまとめて頂きたいと思います。
- ・(委員) 男女共同参画や子ども、高齢者に配慮した施設を計画してください。
- ・(委員) 建物の規模を決めるための理念は、将来の住民の数を想定し、その住民サービスに伴う職員の数で建物の規模を考えるべきである。
- ・(委員) 市が考える人口や職員の数よりも、もう少し将来の数値で、庁舎規模を想定してほしい。もし、今の市の考える庁舎規模で計画したときに、将来の余剰の空間が発生したときには、その対応を考えておいてほしい。
- ⇒(事務局) 審議会の中の合意の意見を尊重することとなっておりますが、人口推計は、10年後と25年後では推計のぶれ幅が全く違うので、具体的な将来人口の年度の想定は、危ういところがあります。12年後の平成39年度ぐらいであれば、ある程度見込める数字であり、それに伴う職員数の見込みで対応したいとした主旨であり、ご配慮願いたい。
- ・(委員) 庁舎スペースがあまったときは、何か対応することを配慮してほしい。
- ・(委員) 次の設計段階において、具体的な面積や部屋の広さについて、基本計画策定と同じように審議会の設置を要望したい。
- ⇒(事務局) 事務局としては、庁舎が建設されるまで、みなさまからの意見を頂き、よりよいものを作りたいと考えている。委員からの審議会設置の要望については、市長に伝えたい。
- ・(委員) 階数及び面積は、縮小を希望する。配置については、ケース1を支持する。
- ・(委員) 多目的広場と駐車場、屋外空間の両者を兼用できるよう、有効活用を図ってほしい。
- ・(委員) 市民の安全・安心は、当たり前のことであり、安全・安心な庁舎としてほしい。
- ・(委員) やさしい庁舎のやさしいという言葉が踊っており、来庁者のニーズに対応できる庁舎とした方がよい。
- ・(委員) 強いて高齢者や障がい者、子ども等に配慮したと書かなくても、当然配慮されているものと確信している。
- ・(委員) 新しい計画では、住民を主体としたサービスが提供できる諸室構成、配置を望む。
- ・(委員) 市民参画のチェック機関を作る必要があり、機構改革を新庁舎建設時に行

い男女共同参画と市民参画を進める市民参画推進室の設置を要望する。

- ・(委員) 男女共同参画と市民参画は、全く違うことであり、審議会で検討するものではない。
 - ・(委員) 新庁舎建設を機に、機構改革や機構再編を期待する。
 - ・(委員) 付帯意見として、議場の多目的利用を希望し、有効活用を図ってほしい。
 - ・(委員) 市民が気軽に来庁しやすい庁舎として、庁舎跡地の地域資源の有効活用や連携を図ってほしい。
 - ・(委員) ロビーやホールなどの市民スペースを有効活用し、また、職員、議員のスペースも合わせて有効活用してほしい。
 - ・(委員) 電話交換室など、所要室を総合的に検討し、全体の面積の削減に心がけてほしい。
 - ・(委員) 各地域の活用できる施設を利用し、本庁舎の面積は少なくてよいのではないかな。
 - ・(委員) 市も真剣に考えているので、市の考える新庁舎の規模でよい。
 - ・(委員) 全部良くなるなら合併はしていないので、各地区で考えずに、嘉麻市全体で考えるべきである。
 - ・(委員) 山田支所は、交通の利便性を考慮し、山田生涯学習館付近となっているが、嘉穂地区も市バス等は、夢サイトから運行されているが、嘉穂支所は、嘉穂庁舎駐車場となっていて、説明がされていない。
- ⇒(事務局) 嘉穂支所を説明していないということではなく、従来の庁舎のある場所に支所を設置することを前提とし、山田支所においては、現在の庁舎の場所よりも交通の利便性がよい山田生涯学習館付近の方がよいのではないかという骨子案であり、よりよい意見があれば、反映していきたい。
- ・(委員) 建物の構造上の工夫により対応できる建築物の検討を専門家の意見をいつ聞くのか。
- ⇒(事務局) 想定の中では、基本計画の次の具体的な設計の段階で専門家の意見を聞くことになる。
- ・(委員) 耐震安全性の分類の構造体として、Ⅰ類を選んだ理由はあるのか。例えばⅡ類ではないのか。
- ⇒(事務局) 他の自治体の庁舎においても、安全性を考慮し、最大限であるⅠ類となっている。
- ・(委員) 40億を上限とするのではなく、もっと低い金額で設定することと、コンパクトな庁舎にしてほしい。
 - ・(委員) 碓井庁舎を耐震補強し、大規模改修し、お金をかけ、その後庁舎を壊し、建て替えるのは、市民感覚として、理解できない。

- ・(会長) 今回、本庁分はある程度終わったが、支所についての協議のため、審議会を追加し、今月末に協議したい。
- ・(委員) 他の地区の支所のことは、わからないので、支所のことは各地区で協議した方がよい。
- ・(委員) 各地区での協議も重要であるが、支所について、審議会全体の方向性を確認する必要がある。
- ・(委員) 碓井庁舎の耐震や大規模改修の市の考え方を聞いてから、支所の議論をすべき。
- ・(委員) 市が黒字になるために、1つの庁舎に集約し、旧庁舎は解体することが最初の方針であった。
- ・(会長) 次回、碓井庁舎の耐震や大規模改修等を整理し、関連する施設、支所についての議論を行う。事前に、意見があれば、事務局に提出する。

3 その他

《主な質疑及び意見等》

- ・特になし。

4 次回の開催日程

日時 平成28年1月27日(水) 午後7時～

場所 碓井庁舎 2階 会議室1